

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3200 号	氏名	大池 潤
論文審査担当者	主査 泉崎 雅彦 教授 副査 内田 直樹 教授 副査 小風 暁 教授		
<p>論文題名： Preventive Effect of the Japanese Traditional Herbal Medicine Boiogito on Posttraumatic Osteoarthritis in rats (外傷性変形性膝関節症に対する防已黄耆湯の治療効果)</p> <p>掲載雑誌名： Medicines Vol.7 No.12, 74. 2020 年</p> <p>変形性膝関節症 (KOA) は、関節軟骨、滑膜、軟骨下骨の退行性変化が徐々に進行していく疾患であり、現状ではその進行予防に寄与する治療法がない。大池らは KOA モデルラットを用いて、漢方薬；防已黄耆湯の KOA に対する効果を検討した。KOA モデルとして Destabilization of medial meniscus (DMM) を用いた。12 週齢の Wistar 系雄性ラットを、Control 群、Sham 群、DMM 群、DMM ラットに防已黄耆湯を投与した群 (Bo 群) の 4 群に分けた。運動機能評価として Rotarod 試験を行い、膝関節の組織学的評価を国際変形性膝関節症会議 (OARSI) score にて比較検討した。その結果、Rotarod 試験において、Bo 群は手術翌日及び 2 週以降で DMM 群より有意に走行時間が延長し、組織学的検討には、OARSI score は Bo 群が DMM 群に比べ有意に低下した。防已黄耆湯は術後早期の疼痛改善、運動機能の改善、関節保護作用があり、外傷後 KOA の発症、進行予防に有用であることが示唆された。</p> <p>本論文は本学大学院学位論文 (博士) 審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載、500 字以内)